

R6年度金沢市協働のまちづくりチャレンジ事業

2次公開プレゼンテーション

重症児・医療的ケア児相談事業



さくらんぼ すまいる



「みんなで安心をひろげる相談事業」
～すべての親が
しあわせな子育てのできる社会へ～

①団体紹介

2020年12月設立。障がい児の母親を中心とする活動メンバー15名。

月1回のグループ相談会を軸に、勉強会やイベント開催など、

親だけでなく、支援者や地域の方とのつながりを大切にしています。

「しょうがいの有無にかかわらず、すべての親が しあわせな子育てのできる社会」
をめざして

さまざまを活動をしています。



さくらんぼすまいる



医療的ケア児って？

(さくらんぼすまいるチラシより)

日常生活および社会生活を営むために、恒常に医療的ケアを受けることが必要な児童。

人工呼吸器、経管栄養、痰の吸引、皮下注射、導尿など。

全国に約2万人、石川県には192人（R5年5月）います。



医療的ケア児のお父さん・お母さんは
もっと…こんなふうに思っています

「働きたい」

園、学校に通うには
看護師さんが必要。
親が付き添うケースが多く
看護師さんの配置を
増やしてほしいです。

「外出したい」

酸素ボンベ等の荷物が多く、
スロープを出せる駐車スペース、
おむつ替えには
ユニバーサルシートが必要。

「子どもと一緒に、
自分らしく生きたい」

「しょうがいのある子」
という線を引かずに、
ひとりひとりの「子ども」
として見てほしい。



さくらんぼすまいる



現状の地域課題



► 国の動き

2021年9月 医療的ケア児支援法の成立

► 石川県の動き

2022年4月 いしかわ医療的ケア児支援センター
「このこの」設立

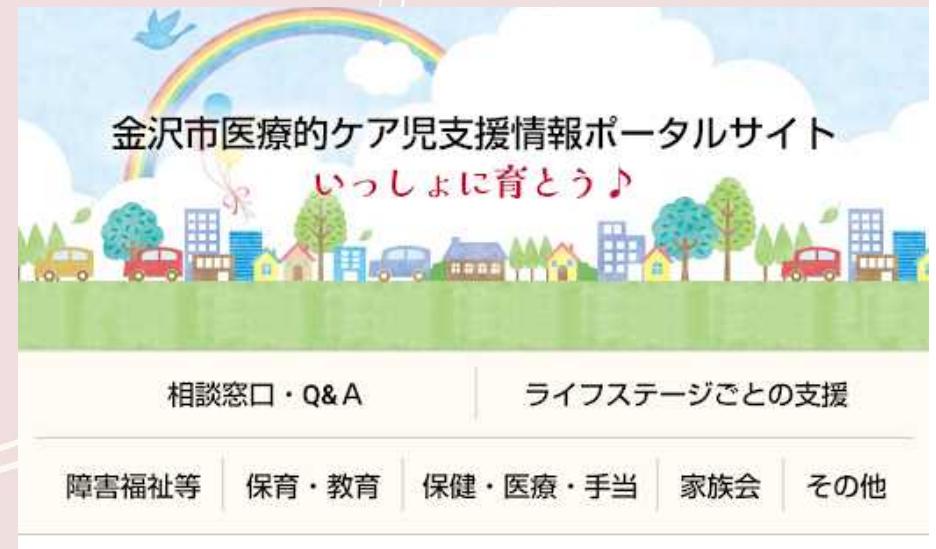
► メディアでも「医療的ケア児」という言葉を
聞く機会が増えた

さくらんぼすまいる



金沢市の動き

- ▶ 2021年度 障害者ノーマライゼーションプラン金沢
- ▶ 2023年度 金沢市医療的ケア児等支援コーディネーター制度の開始 (さくらんぼすまいる協働1年目)
- ▶ 2024年度 医療的ケア児の保育所受け入れ開始
- ▶ 2024年3月 医療的ケア児支援ポータルサイト
「いっしょに育とう♪」の開設
(障害福祉課) (協働2年目)



さくらんぼすまいる

②企画の概要

(1) グループ相談会 (活動の原点であり要となるもの)

毎月1回、先輩ママであるメンバーが悩みを聞いて共感・情報提供。
保健師・看護師などの支援者もオブザーバー参加しサポート。



終了後に参加者アンケート実施、協働課にレポート送付。必要に応じて支援につなぐ。

さくらんぼすまいる

相談会のバージョンアップ



「行ってみたい相談会」 新規の参加者増をめざす

→ プラスアルファの要素を、土日開催も（働く親御さんのため）

～2024年度 予定～

- ✓ 4/3(水)春休み キッズFit森本デイサービス見学会とお子さまアート体験
- ✓ 5/12(日) 「非常時の電源について学ぼう」
石川トヨペットカローラモビリティパーク金沢協力
- 7/17(水) 石川療育センターにて、施設見学と説明会
- 10月 野々市こども食堂「ちきそら」にて
インクルーシブこども食堂「みんなで作ろう！食べよう！」（仮）
- 12月 「産後ケアにふれよう」 産後ケアチーム金沢協力

(2) ハンドブック印刷配布と周知イベントの開催

昨年度データ作成した

「医療的ケアやサポートが必要な子の 子育てハンドブック」

1,000部印刷

配布協力：障害福祉課、福祉健康センター総務課

(保健師さんの赤ちゃん訪問時など)

金沢市医療的ケア児等支援コーディネーター
いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの

配布場所：市役所窓口、各福祉健康センター

金沢福祉用具情報プラザ、各親の会、
病院、訪看ステーション、デイサービスなど



さくらんぼすまいる

障がいがわかってすぐの いちばんしんどい時期へ届けたい

まずはここから!
相談機関のご案内

専門家に相談したい

お子さんとご家族の声を届けてください。聴かせてください。

いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」
Tel:076-203-6090 / Mail:303-icare.ishikawa@mail.hosp.go.jp
医療的ケアが必要なお子さんとご家族の「こんなことができたらしいな」「こんなことに困っている」一緒に考えます。

行政の相談窓口はこちら

金沢市障害福祉課 Tel:076-220-2289
医療的ケアが必要なお子さんとご家族の生活を支える様々な支援制度やサービス等について相談をお受けします。

専門員による様々な相談は
金沢市医療的ケア児等コーディネーター
お子さんとそのご家族に寄り添い、医療や福祉、保育などの様々な相談をお受けし、サービスの利用などを支援します。

保健師さんに相談したい

福祉健康センター
駅西・Tel:076-234-5103 / 泉野・Tel:076-242-1131
元町・Tel:076-251-5704
お子さんの成長・発達や育児・乳幼児健診・予防接種、保護者の方の心身の健康等のご相談。福祉保健サービスの申請。

相談支援やリハビリは
児童発達支援センターよかぜ内 相談支援事業所とらいあんぐる
Tel:076-255-6166 / Mail:toyokaze@seishi.isg.or.jp
地域で安心して生活できる様に専門的な支援を行います。施設内にはリハビリ施設もあるので、お気軽にご相談下さい。

同じ立場の親とつながりたい

日々の生活や進路、病院や手術のこと…
悩みを相談できる先輩や、子育てと一緒に楽しめる仲間がきっと見つかります!

重症児・医療的ケア児相談事業
さくらんぼすまいる(金沢市委託事業)
月1回医療的ケアが必要な子のご家族でグループ相談会をしています。
その他金沢市と連携した勉強会やイベントを実施。

いしかわ医療的ケア児・
障害児家族グループ PareTTe(パレット)
石川県内の医療的ケア児・障害児家族で、LINEやzoomでのオンライン交流。
集まってクリスマス会などを開催。
全国医療的ケアオンライン登録団体です。

石川県肢体不自由児協会、
石川県肢体不自由児者父母の会連合会
主に身体に障がいのある子の親の会。
HELPカード活動や水泳療育訓練。
喧嘩が嫌い子の「もぐもぐゴックン教室」「絵本教室」などを開催。

全国重症心身障害児(者)を守る会・石川県支部
Tel:076-288-5413
「もっとも弱いものをひとりも残さない」の理念のもと活動を行う。
重度の障害をもつ子の親の会。

地域密着、金沢密着
生後すぐ～学童期まで

先輩たちの体験談や
各所の担当者からの
あたたかいメッセージも

QRコード読み取り
で
市のポータルサイト、
ホームページの
該当箇所へ。
更新にも対応。

さくらんぼすまいる



ハンドブック周知イベントの実施

- ▶ 11月予定。20~30名参加見込み。
- ▶ 金沢市医療的ケア児等支援コーディネーター制度の周知・拡大も目的。
(障害福祉課 協力のもと)
- ▶ ご家族と支援者が一緒に、
ハンドブックをもとに支援について
それぞれの思いを話せる会に
- ▶ 医療的ケア児の写真展を同時開催
(主催: 医ケア児支援センターこのこの)
「ゴーカレースタジアム会議室」「県立図書館」
「金沢クルーズターミナル」のいずれか予定

前回写真展のようす



さくらんぼすまいる

(3) 防災についての勉強会と防災キャンプの実施

① 「非常時の電源について学ぼう」 (実施済み)

日時：2024年5月12日（日）10:30～12:00

会場：石川トヨペットカローラモビリティパーク金沢（金沢元町）

共催：いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループPareTTe



さくらんぼすまいる

② 福祉避難所、個別避難計画について学ぶ会

►座談会形式で、年3回～予定。（第1回 4/24（水）14:00～実施済み）

協力：いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの

金沢市障害福祉課・福祉政策課、石川県障害保健福祉課

いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループPareTTe、

石川県重症心身障害児（者）を守る会、石川県肢体不自由児協会



医療的ケア児の「個別避難計画」のベースとなるものを
さまざまな部署と共同で話し合い作成。
行政に情報提供・協力していきたい

さくらんぼすまいる

③ 防災キャンプ

- ▶ 日時：2024年9月28日（土）時間未定
(基本的に屋内中心、2時間程度の予定)
- ▶ 会場：工房シティ（金沢市粟崎）
- ▶ 共催：あおぞら福祉会、いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの



協力：石川県立看護大学防災サークルふたば、
いしかわ医療的ケア児・障がい児家族グループPareTTe、
石川県重症心身障害児(者)を守る会、石川県肢体不自由児協会

- ▶ アドバイザー：笠井 健氏

東日本大震災で医療機関などの災害支援をした経験から、
医療的ケア児の親子の防災教室など地域の社会貢献活動に取り組み、
能登半島地震でも発災直後から能登で支援活動を行う。

～知る・やってみる・みんなで考える～

内容：「普段のケアは災害時どうなる？」



車内・テントでの
経管栄養注入や吸引
オムツ替え

車からの給電、
医療機器はどれくらい
もつ？



口腔ケア
誤嚥性肺炎予防

水の限られた中で
ケア用品の洗浄

工房シティのなかまの
皆さんも一緒に
さまざまな障がいの方が
いるときの課題

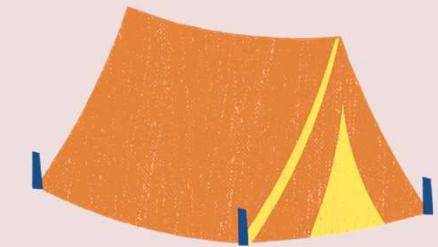
県立看護大学
防災サークルふたば
の皆さんも一緒に体験
炊き出しのごはんは
みんな食べられる？

さくらんぼすまいる



安全性の確保

屋外（駐車場）と、屋内に空調のきいた部屋を確保。
天候不良時や熱中症対策として、基本はそちらで実施。
工房シティの職員の皆さんも参加。
看護師さんの参加。

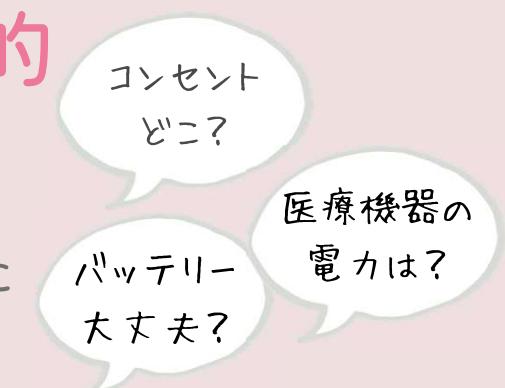


途中入退室自由。
親御さんの判断で中断や帰宅は自由です。



やってみて、課題を探るのが目的

- ▶ 「災害時の電源について学ぼう」(5/12) でも、
実際にやってみて初めてわかったことが色々あった
- ▶ 実際に体験した後は、「何を備えるべきか？」
みんなで意見をシェア（屋内で） → 情報の発信、協働課と共有



さくらんぼすまいる

137
投稿471
フォロワー431
フォロー中

さくらんぼすまいる
重症児・医療的ケア児相談事業さくらんぼすまいる(金沢市委託事業)しようがい児を育てる親どうしのグループ相...続きを読む
forms.gle/hrgKhTafZEsf1Fjc3A

[プロフィールを編集](#) [プロフィールをシ...](#) +9



(4) ホームページの作成

現在 ➤ インスタグラムによる情報発信中
(相談会・イベントの参加募集や報告など)



団体の周知用、組織の基盤強化のため、
ホームページの作成



(協力：株式会社メントル)

- 医療的ケア児支援ポータルサイト（障害福祉課）との連携
- 「医療的ケアやサポートが必要な子の子育てハンドブック」のデータ公開 など

さくらんぼすまいる

③ 今後の展開

活動メンバーの大半は、医療的ケア児、重度の障がい児の親
私たちの子どもは、急な体調不良による入院・通院がとても多い

相談会は
デイサービスや
関係施設と

自分たちだけでは難しいことも、
関連した団体とコラボ・協力することで
実現できる

イベントは
親の会や
支援センターと
(資金協力)



今年度はしっかりとその土台を作るべく、
さまざまな団体と出会い、つながり、助け合う



さくらんぼすまいる

当事者だけでなく、支援者・地域の方々とつながる・ひろがる
みんなで安心をひろげる事業へ



支援者さん



親の会



行政さん

地域の方々



Adobe Stock | #63608850

さくらんぼすまいる

普段からつながること、知ってもらうことで
障がいのある子がいることが
「あたりまえ」の社会に



障がいの有無にかかわらず
すべての親がしあわせな子育てのできる社会へ！

さくらんぼすまいる

④ 事業収支予算

【 収入 】

科目	金額	内訳など
委託料（金沢市）	300,000	
参加費	8,000	相談会（こども食堂ちきそら）@500円×親子6組、防災キャンプ@500円×親子10組
計【A】	308000	

【 支出 】

(単位：円)

科目	金額	内訳など
ハンドブック印刷費	120,000	初版1,000部
食材費	50,000	飲料（ミネラルウォーター等）・大人弁当（参加費）・調理食材・ゼリー粥・トロミ剤等（9月防災キャンプ30,000円）、調理食材・トロミ剤等（10月こども食堂20,000円）
イベント雑費	25,000	紙食器類・カセットボンベ・ラップなど消耗品（9月防災キャンプ15,000円）、紙食器類・キッチンペーパー等消耗品（10月こども食堂10,000円）
会場使用料	8,260	11月ハンドブック周知イベント
ホームページ制作費	66000	ドメイン料3,000円/年、ウェブサーバー料8,000円/年、作成委託費55,000円
チラシ印刷費	28,000	案内チラシ（相談会、防災キャンプ、こども食堂）、プリンタインク
雑費	10740	文具、紙、消耗品等
計【B】	308000	

さくらんぼすまいる



ご清聴ありがとうございました!

